新病院紹介シリーズ

02

薬剤科
～お薬ができるまで～

新しく配備！ピッキングマシン！

県立あき総合病院の新設・新病院開院に伴い、薬剤科についに待望の注射薬ピッキングマシン（通称：注射薬自動払い出し機）が導入されました。総額ウン千万したとか、しないとか。これまでは手作業でそれぞれの薬剤を取って患者さんごとの入れ物に用意していました。これからは、機械がそれぞれの薬を取って、患者さんごとの入れ物（トレー）に施用（Ｒｐ）ごとに用意をしてくれます。

現在は病院機能評価にも対応できる、患者さん毎、一施用毎の準備が可能となりました。

副薬剤長 *Hideo Imai*
今井 英雄

薬剤師歴：26 年
（当院で約 20 年）
趣味：読書、テニス、ピンクナンバーバイクなど。

START!

今回は注射薬の定期処方の流れをご案内いたします♡

薬剤師 古味

01 1. 処方箋受付

電子カルテから医師が入力している注射オーダー（指示）を薬剤システムに情報を取り込みます。

02 2. 処方箋の確認

電子カルテになって指示をコンピュータから取り出して、処方箋を印刷します。

薬剤師 佐々木

03 3. 調剤（ピッキングマシン）

時間になったら薬剤システムから注射薬ピッキングマシンに情報を送って、機械を動かします。

（ピッキングマシン内部）

アンプルがいっぱい！

臨時 横田

薬剤師 村上

セットいきまーす！

ウィーンという音とともに個人用トレー（入れもの）が機械に吸い込まれ、まずはアンプル・バイアルなどの小物、次にバック・輸液製剤が機械の下を通過する患者さんごとのトレーに順番にセットされていきます。機械内のアームが、機械内部をビュンと走り薬剤をセットしたり、別のアームがトレーを病棟カートにウィーンと入れるのを見ていると、「すごいなぁ」と感心します。

薬剤師 八木

GOAL!

04 4. 完成！ではなくて…

ここまでだと「すごい！全自動か！」と思われるかもしれませんが…

まだダメよ～、ダメダメ！

薬剤師 山本

05 5. 手作業でのピッキング

薬剤には大きなバック製剤、割れやすいアンプル、特殊な形状のもの等様々な製剤が結構多くあるため、全ての薬品がピッキングマシン対応ではありません。

薬剤の扱いは慎重に！

薬剤師 野島

06 6. 監査

薬剤の内容・用量が正しくセットされているかを薬剤師が厳しい目でチェックします。

機械に入れることのできない薬剤を薬剤師・薬剤師助手がセットし、仕上げます。

薬剤師 友永

キラーン☆

薬剤師 仁木

07 7. 監査（ダブルチェック）

とっても大切なことですので、薬の監査は薬剤師２人によるダブルチェックが行われます。

08 8. 払い出し

これでようやくＯＫです。入院定期は病棟別カートへ、在宅用点滴などは外来窓口へ払い出します。

お大事に。

おしまい♪

薬剤長 戸梶

臨時処方はこ・ち・ら♡

薬剤師 中澤

GOAL!

臨時処方は部署別ＢＯＸに分けて払い出します

今井さんのワンポイント！

ピッキングマシンが導入され、確かに作業量・作業時間は短縮されました。しかし所詮は機械です。停電・機器詰まり・インク漏れなど、思いもよらない様々な機械のエラーへの対応や適切な機器設定ができているかによって作業が大きく違ってきます。最新の機器が入ったことに安心せず、より正確かつ迅速に対応できるよう業務に取り組んでいこうと思います。